



主催 日本ファンクションポイントユーザ会

無料

＜協賛＞ 一般社団法人 PMI日本支部、一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会、一般財団法人 日本科学技術連盟、一般社団法人 日本情報システム・ユーザ協会、ソフトウェア技術者協会、Agile Japan 実行委員会
 ＜後援＞ 特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会、ISACA 東京支部

日時 2019年11月28日 (木) 13:30～16:45
(13:15受付開始)

会場 主婦会館 プラザエフ 7階 カトレア

日本ファンクションポイントユーザ会(JFPUG)はソフトウェア規模尺度であるファンクションポイント法(FP法)の普及、教育を行って25年の歴史をもつ団体です。また、広くソフトウェア定量化の方法、見積およびプロジェクト管理への活用についても研究を重ねています。本セミナーでは「DX時代の開発、変わるもの・変わらないもの」と題して、改めてこの時代の開発を考える機会を提供します。DX時代と騒がれて久しく、顧客サービスエリアのシステム開発が盛んになったりと、様々な変化が求められる時代ですが、システムを開発するという意味では変わりはなく、クラウド、AI、自動化、アジャイルなどの新たな技術への取り組みと共に、要件定義や見積り、スコープ管理、品質管理など、普遍的な取り組みも存在します。DX時代に求められるもの、DX時代を考える絶好の機会ですので是非ご参加ください。

◆講演1 13:35 - 14:25

ソフトウェア社会に向けた行動改革

株式会社ZOZOテクノロジーズ 岡 大勝 氏

～プロジェクトマネジャーが変えるもの、変えてはいけないもの～

ソフトウェアを中心とした世界に向けて社会全体が大きな転換期を迎えています。システム開発の現場を見てもアジャイルやクラウドネイティブといった言葉が飛び交うようになりました。そしてその渦中で否応なく変化を求められているプロジェクトマネジャーの価値観と行動について、変わるべきものは何か、変えてはいけないものは何なのかを中心にお話します。



◆講演2 14:25 - 15:15

ソフトウェアの価格モデル「PVCモデル」

みずほ情報総研株式会社 宮田 晃 氏

システムの価格について、ユーザ・ベンダ双方が納得して合意形成を得ることは簡単ではありません。ユーザ・ベンダ双方が価格形成のメカニズムを理解し価格の納得感を得ることで、適正な価格取引を促進すべく、ソフトウェアの価格モデル「PVCモデル」を研究した成果を発表します。価格は価値とコストのバランスによって決まるという考えに、リスクの要素を加え、明快に説明することを試みます。

【JFPUG企画担当役員】



～ 休憩 ～

◆講演3 15:30 - 16:20

要件定義でよく発生する問題と対策の集成

独立行政法人情報処理推進機構 村岡 恭昭 氏

システム開発の遅延原因の多くは要件定義の失敗にあると言われています。本来、要件定義を実施する責任は、完成したシステムを使用して効果を引き出す役割を担うユーザ自身にあるはずですが、実際には実践のノウハウが少なく、発生する問題への対処方法が分からないことが、ユーザ主導で要件定義を行うことを困難にしています。IPAでは、この問題を解決するために、ユーザが要件定義を実施する際に直面する問題と対策を「ユーザのための要件定義ガイド第2版」としてまとめました。今回はその概要についてご紹介いたします。



◆JFPUGご紹介 16:20 - 16:45

JFPUG活動のご紹介と今後の狙い

SCSK株式会社 小椋 隆 氏

JFPUGには100社以上の企業が会員となりさまざまな活動を行っています。ファンクションポイントに関する会員対象の教育、資格制度、会員への広報などJFPUGの全体活動や入会時メリットと共に、これからのソフトウェア業界に発信していきたいメッセージを紹介します。

【JFPUG研究推進担当役員】



